

# ひら と 開いて閉じて

## 設計計画地

所在地：〒905-0225 沖縄県国頭郡本部町字崎本部本部港旅客ターミナル地内

敷地面積：約 3,036 m<sup>2</sup>（荷捌き地）

用途地域：未指定地域

施設企画

延べ面積 520 m<sup>2</sup>

構造 RC 造

階数 平屋建て

高さ 4.2m

沖縄県本部港に荷裁き施設と待合室を兼ねた利便施設を設計します

今回着目したことは、コロナウイルスによる離島観光の変化です

コロナウイルスによって観光客は減り、特に集団での行動が規制される世の中に移行しつつあります

この変化は一過性のものではなく今後も続いていくと考えました

しかしフェリー運航は観光客を運ぶだけでなく、離島の生活物資の運搬などのライフラインとしても機能しています

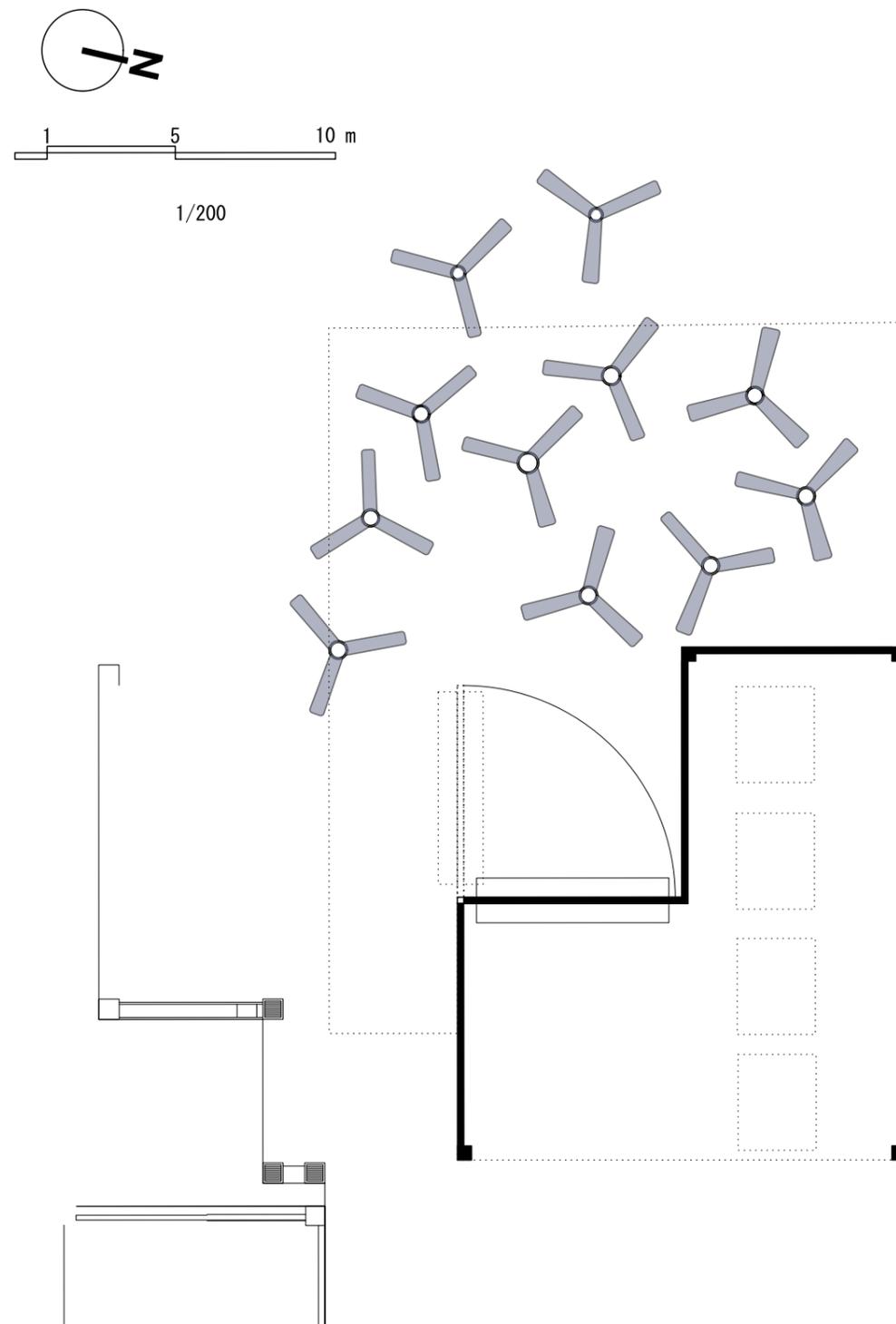
観光客が減ってしまった場合に物資の運搬に特化できる利便施設を考えました

今回提案する利便施設は、通気性を考えた半屋外の待合室・可動する壁により

新しい時代に合ったものとなるでしょう



テトラポッドのような形をした待合所は向かい合ったり、密になる事を避ける効果があります。  
また半屋外環境なので大人数の旅行客に対応することができます



壁についているベンチは閉じている場合は荷物置きにもなるように広めの幅になっています

観光客利用が盛んな場合は壁を開放し、テトラポッド待合所と荷捌き場とを繋げます

利用が少ない場合は扉を閉じて使います  
荷捌き場とテトラポッド待合所を分けることが可能です

